



# 自治会や行政の協力を得て、 会員増へ

滋賀県 野洲市<sup>やす</sup>老人クラブ連合会

- クラブ数 89クラブ
- 会員数 5060名（男性2258名、女性2802名）



滋賀県  
野洲市

野洲市は、京阪神地域の水がめと言われる琵琶湖に面して、対岸には比良山系が一望できる豊かな農村地です。昭和から新興住宅地が増え、平成16年に旧野洲町と中主町<sup>ちゅうすうちょう</sup>が合併して野洲市が誕生しました。人口は5万人余り、65歳以上人口は1万2千人強です。

合併と同時に市老連に会則検討委員会を立ち上げ、七つある学区のそれぞれから男女1名ずつ2名の理事を選出して、事業を運営していくことに決まりました。市老連では「健康・友愛・奉仕」の三本柱とともに男女共同参画を掲げ、すべての役員、事業に男女が参画しています。

全老連の「会員増強運動」5カ年計画を受け、平成26年度会員数の1割増を目標に計画

しましたが、非常に難しいことが分かりました。毎年200人前後の入会がありますが、それ以上に自然減が多く、差し引きすると実質的には減員となるのです。

そのような状況を考え、28年度は現状維持あるいは1クラブ1名増員を目標に頑張ってきました。事業においても、健康ウォーキング、健康体操、節目の年齢に達した会員へのお祝い、友愛活動や会報で事業計画・報告等を会員に知らせて多くの方が参加できるように考慮しています。

## 新クラブ誕生と

## 休会、脱会への働きかけ

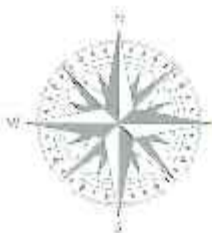
そのような中、28年度に新たに1クラブが



詐欺被害防止の寸劇

誕生しました。きっかけは、まず女性役員が自治会役員宅を訪問して、クラブ立ち上げの勧めを再三行いました。その後、役員・事務局が一体となって、会報や各種案内を持参して積極的に呼びかけ続けた結果、83人のクラブが誕生したものです。ちなみに会長は女性です。

休会、脱会の動きを感じた時には、何度となく足を運び、積極的に復帰を呼びかけています。



篠原地区での健康ウォーキング

ある地域では、クラブの会長が会員を増やすことに前向きでなく、好きなもの同士の寄り合いになっていることを、熱心な自治会長が心配しておられました。そこで、この自治会長と接触を続けたところ、自治会長を辞めた後は自らクラブの会長となって『井の中の蛙』状態から脱し、地域の発展につながるようなクラブにしていくと約束いただきました。

また、あるクラブの脱会のうわさを耳にしたため、その会長宅に駆け込んで理由を尋ねたところ、役員のなり手がいないとのことでした。学区長と一緒に、なんでも手伝うから役員ができるまで頑張つてほしいと説得していただくところ、自発的に役員になっていただける方ができて軌道に乗ったという例もあります。

### 会員増強に、行政の理解を広げる

野洲市では、新地域支援事業を29年度からスタートすることになっています。老人クラブを所管する市の高齢福祉課や市長との懇談会において、会員を増やすための手助けをお願いしましたところ、市から地域支援事業の一環であり、市が募集・運営している『生きがいづくりサークル』（編物、ストレッチヨガ等15サークル）の運営をクラブに移行することを提案され、現在その方向で奔走いただいています。これまではクラブの会員以外の高齢者も参加されていますが、4月以降は、会員でない方はクラブに入会することを条件に参加いただける、老人クラブの『生きがいづくりの会クラブ』として立ち上げます。

なお、現在クラブのない自治会においては、「サポーター会員」になり活動することも決

定しました。したがって29年度は100名の会員増となる予定です。

現在、野洲市には自治会が108あり、そのうち高齢者がいない若い世帯だけの自治会が14あります。一方、高齢者のいる94自治会のうちクラブのない自治会は、休会・退会クラブを含め24自治会です。今後20クラブの立ち上げを達成目標に頑張る計画です。

(理事 白井京子)



友愛訪問でのいなり寿司作り